


<b>コロンビア共和国</b>		首都	ボゴタ
 <p>黄は鉱物資源を、青は空と太平洋、カリブ海の海を、赤はスペインから独立するために流した血を表している。 新大陸の発見者コロンブスにちなんで名づけられた。</p> <p>独立：1810/7/20 スペインより 国連加盟：1945/11/5 政体：共和制</p>	国 の 概 要	国土	面積 114万 1,748 km <sup>2</sup> (日本の3倍) アンデス山脈はこの国にはいると、東部・中央・西部の3つの山系に分かれて、それぞれに3000m級の山脈を形成している。このため、国土の40%は山地で、東北部はオリノコ川の支流メタ川流域のリャノとよばれる大草原が広がり、東南部はアマゾン川流域の密林地帯である。
		人口	4,209万人
		言語	スペイン語(公用語)
		通貨	ペソ
		気候	地形条件から4つに区分される。海岸など平野部は高温多湿の熱帯性、標高1000~1500mの地域は亜熱帯性、その上は変化の少ない常春の気候で、3000mを超えると高山性となる。雨季は3月~5月と10月~11月の2回ある。
		民族	メスティソ(白人とインディオの混血)60%、サンボ(インディオと黒人の混血)14%、ヨーロッパ系20%、アフリカ系5%、インディオ1%
	宗教	カトリック90%	
教 育 制 度 の 概 要	学校体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初等教育(小学校)5年、前期中等教育(中学校)4年、後期中等教育(高校)2年、高等教育(大学)5~6年からなっている。</li> <li>・アメリカ系やヨーロッパ系の私立学校もある。</li> </ul>	
	義務教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育は初等教育5年と前期中等教育の4年の9年間である。</li> <li>・その年の12月31日までに6歳になる者は、翌年の2月上旬に義務教育の第一学年に入学する。</li> <li>・近年、未就学に関して罰則されるようになった。</li> <li>・公立学校の授業料は無償だが、その他の費用(教科書代、軽食代、制服)、PTA会費(スクールバス費、保険費)は自己負担である。</li> <li>・就学率については地域格差が大きい。また、大都市近辺に移住を余儀なくされた国内避難民子弟への教育サービスの提供が問題化している。</li> <li>・私立校の教育水準は高い。</li> </ul>	

	日本と比較した教育課程上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校年度は2通りあるが、</li> <li>・2月期の学校は2月15日～11月15日で、前学期2月上旬～6月中旬、後学期7月上旬～11月中旬、</li> <li>・9月期の学校は9月15日～6月15日で、前学期9月中旬～12月中旬、後学期1月中旬～6月中旬、としている。これは、学校により異なる。</li> <li>・また、公立学校の多くは午前と午後の2部制度を採り、生徒も教師も入れ替わる。夜間の部もある場合がある。</li> <li>・カリキュラムは、教育省が規定する教科（スペイン語や歴史など）及び授業数を基本とし、学校ごとに独自の教科を加えている。</li> <li>・特別活動として、日本の「クラブ活動」を行っている学校もあり、清掃活動を行う学校もある。</li> </ul>
	義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正式な統計ではないが、後期中等教育2年間への進学率は約50%、高等教育（大学、短大）への進学率は15%といわれている。</li> <li>・ボゴタは「南米のアテネ」と呼ばれるほど数多くの大学があり、希望者は国家試験に合格し、さらに希望校の入学試験に合格すれば、希望校に入ることができる。教育費は日本以上に高いが、国や他機関が提供する教育ローン制度などを利用すれば、大学に行くことは可能である。</li> </ul>
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳～6歳児を対象とし、就学前の最低1年間は法律上義務となっている。</li> <li>・幼稚園は私立のみである。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的に教育に熱心だが、経済的な理由で就学できない子どももおり、街頭で働いている姿をよく見かける。</li> </ul>
学校生活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みは、7月中旬から約1カ月間、冬休みは、12月1日から1月20日頃まで、3月に聖週間の休みが1週間ある。</li> </ul>
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛び級も落第もある。</li> </ul>
	給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェテリアで昼食を提供する学校、売店で軽食を買える学校、弁当持参の学校、とまちまちである、</li> <li>・給食を実施している学校でも、給食を食べるか、弁当を持参するかは、各家庭で決める。</li> </ul>

	校則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立学校では派手なアクセサリーや化粧は禁止されている。</li> <li>・男子生徒は長いヘアスタイルは禁止で、派手なピアスや髪形をしないよう指導される。</li> <li>・女子は普通のピアスは認められている。</li> </ul>
	保護者の授業参観、保護者会、PTA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの学校は PTA 会費を徴収し、学校運営費にあてている。</li> </ul>
	子どもの一日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後には宿題をしたり、家族とともにテレビを見たりして過ごす。</li> </ul>
生活習慣等	言葉の指導面の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公用語であるスペイン語の発音には「ツ」と「シ」と「ジャ行」の発音が無いいため、日本語の学習では、「ツ」と「ス」と「チュ」の区別がつかない、「シ」と「チ」の区別がつかない、「ヤ行」と「ジャ行」が混同する。</li> <li>・「ハ行」の子音が脱落してしまうことがある。</li> </ul>
	食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水は直接飲むことができない。沸騰させて飲んでいる。水を買う人もいる。</li> <li>・「アロス・コン・ポーヨ」という鶏肉入りご飯をよく食べる。味付けは塩・クミン・パプリカ・ガーリックパウダーである。</li> </ul>
	衣服住居の違い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペイン風の建物・カトリック教会が多く見られる。</li> </ul>
	交通規則の違い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボゴダには地下鉄はない。日本ほど発達した電車ではないが、ボゴダには電車はある。</li> <li>・交通渋滞はかつて社会問題となっていたが、近年においてこの状況は改善され、近代的な交通システム「トランスミレニオ (TRANSMILENIO)」が導入されている。</li> <li>・市営バスが最も多く利用され、続いてタクシー、自家用車の順である。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正式な名前は、ファーストネーム 1 (+ファーストネーム 2) 名字 1 (父方) + 名字 2 (母方) である。名字 3 (父方) + 名字 4 (母方) まである子もいる。</li> <li>・学校ではファーストネームで呼ばれる。</li> <li>・日本製の車やオートバイ、テレビ、カメラ、コンピュータなどが多く出回っている。人気アニメもテレビで放映されており、日本語・中国語の学習熱も高まってきている。</li> <li>・日本については、地球の裏側にある技術の発達した国という印象をもち、日本文化に対する関心が高くなっている。</li> </ul>

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・平凡社
- ・コロンビア共和国の概観について・・・・・・・・元ボゴタ日本人学校教員 成田 善次郎
- ・ボゴタ日本人学校（月刊誌「海外子女教育」）・・・・・・・・海外子女教育財団
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・井上恵子
- ・世界の郷土料理・・・・・・・・KDDI